

授業科目名	教養特別講座	科目コード	G0107L07
英文名	Liberal arts of special course		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会生活基礎科目		
------	---------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	大谷 孝行
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年・3年・4年後期集中	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>現代社会では情報技術（IT）の普及により、自分の声、直筆による自己表現や創作活動による表現の機会が減っています。この講義では、上手に自分らしく自己を「表現」することができるためのヒントを提供する機会とします。相手とどのようなコミュニケーション手法が望ましいのか。とりわけ、グローバル化社会において、価値観や言語が異なる世界の人々との交流も含め、皆さんにとって自分らしさの自己表現の在り方を探り、人間力の向上を目指します。各回の講義は、各分野の専門家が講師を務めます。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	表現手法	コミュニケーション	人間力	マナー
-------	------	-----------	-----	-----

到達目標	「自己表現する」ための手法について、さまざまな手法とその特色を知ることができる。		
	自分の特徴や長所を把握・再発見して、より自分らしい表現方法を身に付けることができる。		

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「教養特別講義」についてオリエンテーション（富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子） 本講義の開設の主旨として、表現の在り方やより良いコミュニケーションについて学ぶ機会として欲しい。スケジュールについて説明する。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	「マナー・しぐさ」とコミュニケーション（富山国際大学客員准教授 斎藤 敏子 氏） ことばと態度を融合させた、しぐさやマナーの視点から伝えるコツを聞く。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	「マナーとしぐさ」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	「マナーとしぐさ」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	本時のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	現代のマスコミ（文字表現）とコミュニケーション(富山国際大学 現代社会学部 教授 渡部恵子)	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	万葉時代のコミュニケーション・“恋歌”を詠む 家持を中心に（高岡市万葉歴史館 学芸課長 新谷秀夫 氏）	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	外国人から見る日本人とのコミュニケーション（留学生・富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑納子）	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	言葉（テレビ、ラジオ）とコミュニケーション（富山国際大学 後援会長 佐藤栄治 氏）	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	本時のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	「顔の表情」とコミュニケーション (sukai美科学研究所代表、日本顔学会会長 菅沼 薫 氏) 顔の表情など科学的な視点から講義を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	「顔の表情」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	「顔の表情」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	「顔の表情」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	総括 (富山国際大学 現代社会学部 教授 尾畑 納子) 全体の講義を通して、質疑応答・取りまとめを行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業時間中の課題（40％）、最終課題レポート（60％）		
使用資料 <テキスト>	授業の時にレジюмеや資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	授業の中で指示します。
授業外学修等	<p>集中講義のため、1日の授業が終了したら、その日の学びの内容について、事後の復習を必ず行い（15分程度）次回の内容につなげてください。授業の開講期間中に美術館・資料館等（どこでも可）での鑑賞と感想レポート（400字程度）提出してください。</p> <p>学外講師の都合で各回の順番が変更になることがあることをあらかじめ了承下さい。</p>		
授業外質問方法	講義をしたそれぞれの教員へ直接質問してください。また、email:obata@tuins.ac.jpへ。		
オフィス・アワー	木曜日午前中		